

第14回（平成28年度）「高峰記念第一三共賞」の受賞者として、水島 昇博士（東京大学大学院医学系研究科教授）を選出しましたのでお知らせします。

受賞研究テーマ

「オートファジーによる細胞内分解の分子機構と生理・医学的意義に関する研究」

水島先生は東京医科歯科大学大学院医学研究科（内科学系内科学専攻）を修了後、日本学術振興会特別研究員、岡崎国立共同研究機構 基礎生物研究所助手、東京都臨床医学総合研究所研究員、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 細胞生理学分野教授を経て、平成24年より東京大学大学院医学系研究科 分子生物学分野教授に就任されています。

水島博士は、オートファジーの研究を酵母からスタートさせ、その後マウスやヒトの分子機構や生理機能を対象とした独自の研究に発展させてきました。博士はオートファジー分解というほとんど知られていなかった細胞機能の重要性を、独創的な視点と手法で切り開いてきたこの分野の国際的リーダーです。その結果、オートファジーは単にストレス応答や品質管理としての生理的重要性だけではなく、その遺伝子異常がヒト疾患で発見され、さらには創薬対象として認識されるほどに成長しました。さらに、水島博士はオートファジー研究の方法論においても、その開発と啓蒙で世界の先導的役割を担ってきました。

（所属機関・役職）

東京大学大学院医学系研究科 分子生物学分野 教授

（主な略歴）

- 1991年3月 東京医科歯科大学 医学部医学科 卒業
- 1996年3月 東京医科歯科大学大学院 医学研究科博士課程修了 医学博士
- 1996年4月 日本学術振興会 特別研究員（PD）
- 1998年10月 岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 非常勤研究員
- 1999年10月 科学技術振興事業団 さきがけ研究21 研究員
- 2002年4月 岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 助手
- 2004年4月 財）東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所 副参事研究員
- 2006年9月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科細胞生理学分野 教授
- 2012年10月 東京大学大学院 医学系研究科分子生物学分野 教授

(主な受賞歴)

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 2001年 | 日本生化学会奨励賞 |
| 2005年 | 日本分子生物学会三菱化学奨励賞 |
| 2006年 | 文部科学大臣表彰若手科学者賞 |
| 2007年 | FEBS Letters Young Science Award |
| 2008年 | 日本学術振興会賞 |
| 2008年 | 塚原仲晃記念賞 |
| 2009年 | 井上學術賞 |
| 2010年 | 日本生化学会柿内三郎記念賞 |
| 2011年 | 武田医学賞 |
| 2013年 | トムソン・ロイター引用栄誉賞 |
| 2014年 | 読売テクノフォーラム・ゴールドメダル賞 |
| 2014年 | 永瀬特別賞 |
| 2015年 | 抗加齢医学会学会賞 |
| 2016年 | 上原賞 |